

# 南三陸の実践型インターンシップ

## <おすすめポイント>

★経営者の右腕として  
課題解決にチャレンジ。

★4週間で「目的達成」を  
目指す。

★メンターとの対話で  
学びを整理。

## <実施までの流れ>

- 場 所 宮城県南三陸町
- 期 間 8/17～9/14
- 職 種 商品開発 プラン提案 情報発信
- 待 遇 交通費・宿泊費・食費補助(850円/日)支給
- 問合先 :株式会社ESCCA NPO法人底上げ  
(南三陸担当コーディネート団体・メンター)  
:entry@esc.ca.jp (野田・太齋)  
:080-3591-0611 (野田)

※南三陸までの往復交通費が支給されますので、  
遠方からでも参加しやすいプログラムです。

6/17(土)～7/1(土) プロジェクト選択	7/1(土)～31(月) ESの記入	7/1(土)～31(月) 面談	8/1(火)～15(火) 事前準備・研修	8/17(木)～9/14(木) インターンの実施	10月以降 振り返り・研修
・復興庁HP、プロジェクト インデックスも参考に、 裏面記載のプロジェクト より、インターン先を選 択。 ・名前・学校・希望企業を 本文に入れコーディネート 団体へmailを送信	・コーディネート団 体より送付される エントリーシートに 必要事項を記入し、 コーディネート団 体へmailで送信。	・コーディネート 団体と直接又 はスカイプ等で の面談を実施。	・事前課題の 確認 ・現地での動 き方の確認 ・事前研修	☆企業顔合わせ、打ち合わせ ☆インターン実施 ☆中間報告会 参加学生間で情報交換、 成果のブラッシュアップ ☆最終報告会 地元企業も参加し、成果発表	・振り返り、評価 ・全体を通したフィード バック ・事後研修@東京

平成29年度 夏季

# 南三陸ブロック インターン 受け入れ企業一覧

パソコンからは

検索

プロジェクトインデックス

地域を愛するオーナーの右腕となり、  
ハートをつかむメニューを開発せよ！

## カフェメニュー開発

心結ぶカフェむすびや

メニュー改良のためのニーズ調査と新メニューの開発を行います。お客さんのニーズを丁寧に調査し、お客さんの声と、地元の生産者の想いが詰まった商品を開発することでマーケティング力、リサーチ力、提案力が身につきます。



詳しくはこちら



これまでにない森林と人間との新たな  
フロンティアをリサーチせよ！

## 森の新商品開発

株式会社 佐久

100件を目標とした国産材のプラダクトを調査し、レポートにまとめたのち、南三陸で実現可能なプラダクトを考え提案します。他事例の研究とプラダクトの構想をすることによって、情報整理力、プラダクト開発力が身につきます。



詳しくはこちら



地域食材を使ったあま〜いコラボレーションを作れ！

## スイーツ新商品開発

マルアラ 株式会社

地元の食材の調査、生産者へのヒアリング等を行い、コラボ商品を開発します。地元食材とのコラボの可能性を探りながら生産者へのヒアリング内容をまとめていくことによって、傾聴力、価値創造力、商品開発力が身につきます。



詳しくはこちら



人が出会い新しいワクワクが生まれ続ける、  
地域の新しいシェアオフィスを作ろう！

## オフィス環境デザイン

合同会社 MMR

企業理解からまちの方向性を捉え、シェアオフィスの価値提供を模索し環境デザインを行い、利用規約、広報資料などを作成します。新たな付加価値をつけて発信することによって、価値創造力、情報発信力、文章構成力が身につきます。



詳しくはこちら



感動を届ける地域のトランスポーターを  
ヒーローにせよ！

## PRツール制作

有限会社 山藤運輸

企業理解と社員へのヒアリングを行い、会社の情報発信ツールの作成と社内での発表を実施します。会社の魅力発見、社員への丁寧な聞き取りと動画の作成を行うことによって、魅力発見能力、傾聴力、動画作成技術が身につきます。



詳しくはこちら



森・里・海の力を生かした  
ツーリズムで顧客を魅了せよ！

## ツアープラン開発

株式会社 ニュー泊崎荘

他地域での事例を徹底的に調べ、南三陸のリソースから画期的な宿泊プランの提案します。4週間で、100件を目標にリサーチを行い、南三陸の資源と組み合わせていくことで、リサーチ力、資源発見力、プランニング力が身につきます。



詳しくはこちら



帰ったらまたすぐに来なくなる魅力的な  
学びのプログラムを開発せよ！

## プログラム開発

一般社団法人  
南三陸研修センター

研修に参加した大学生が再び南三陸を訪れるためのプラン等の立案をします。期間中に滞在している大学生のヒアリングと、リピーターの心理分析を行い、新しいプログラム開発を行うことによって、現状把握力、プランニング力が身につきます。



詳しくはこちら

